

令和7年度

第1回 京都市桃陽病院の今後の在り方に関する検討会 本体編

令和8年3月24日（火）

13ページを修正

3. 基礎調査・分析の結果報告

(3) 内部環境調査 (入院・外来に関する指標)

- 入院患者数は減少しており、令和6年度の1日あたりの**入院患者数は16.3人、病床利用率は27.1%**であり**空床が目立ち**ます。
- 平均在院日数は21日ですが、患者1名当たりが年間に**7.3回入退院を繰り返**しています。
- 外来患者数は減少しており、令和6年度、1日診療日あたりの**外来患者数は6.6人**です。
- 決算状況は厳しく、**約2.5億円の赤字**となっており、**職員給与費比率が207.0%**であり、給与費が医業収益の2倍以上となっていることに起因すると予想されます。

単位：千円

調査項目		平成30年度 (コロナ前)	令和3年度 (コロナ禍)	令和6年 (現状)	名称	令和6年度
入院	延べ入院患者数	9,690人／年	4,991人／年	5,939人／年	1. 総収益	141,341
	1日あたり入院患者数	26.5人／日	13.7人／日	16.3人／日	(1) 医業収益	140,640
	病床利用率	44.2%	22.8%	27.1%	(2) 医業外収益	701
	平均在院日数	30日	22日	21日	2. 総費用	393,351
	入院単価	19,485円	21,352円	21,384円	(1) 医業費用	393,351
	平均入院回数	—	5.1回	7.3回	ア 給与費	291,173
					イ 材料費	23,975 16,922
外来	延べ外来患者数	2,208人／年	2,288人／年	1,614人／年	ウ その他経費	78,203 85,256
	1日あたり外来患者数	9.0人／日	9.4人／日	6.6人／日	(2) 医業外費用	0
	外来単価	8,401円	9,378円	7,917円	3. 医業損益	△252,712
	20歳未満の占める割合	—	76.4%	76.0%	4. 経常損益	△252,010
					5. 職員給与費比率	207.0%

■ 備考：数値は千円単位で四捨五入しているため、合計が表記上の数値と異なる場合があります。